

令和3年度

医療的ケア児等コーディネーター養成研修 募集要項

1. 目的

人工呼吸器を装着している障害児、その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や、重症心身障害児(以下「医療的ケア児等」という。)が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等の支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーターを養成するとともに、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制を構築することにより、医療的ケア児等の地域生活支援の向上を図ります。

※本研修は、障害福祉サービス等報酬算定における「要医療児者支援体制加算」の対象研修です。

2. 対象となる機関・施設

- 保健センター、地域福祉課、子育て支援課、保健医療課
- 保健医療機関
- 訪問看護ステーション
- 障害児通所支援施設・事業所、計画相談・障害児相談支援事業所
- 障害福祉サービス事業所
- 障害者基幹相談支援センター
- 認定こども園・保育所・幼稚園などの就学前施設
- 小学校・中学校・高校・支援学校

※ただし、堺市内の機関・施設に限ります。

3. 対象者

医療的ケア児等の支援に携わる者または携わる予定の者

4. 養成予定人数

25名程度 ※申込者が多数の場合は、選考のうえ受講者を決定しますのでご了承ください。

5. 受講料

1,000円 ※資料印刷、郵送料等

6. 研修内容

別紙カリキュラムのとおり

※本研修を受講するためには、安定したインターネット環境が必要です。詳細については、「10 受講の際の通信環境について」を確認してください。

※講義受講ごとに受講レポートの提出、演習実施前に事前課題の提出が必要です。

※講師等詳細については、受講決定者に通知します。

7. 申し込み手続き及び受講決定

(1)申し込み

令和3年7月21日(水)までに『堺市電子申請システム』にてお申し込みください。

【堺市ホームページ→市政情報→

行政運営・計画・指針→ICT・情報化→堺市電子申請システム】

※『堺市電子申請システム』トップページの手続き一覧(個人向け)をクリックして
研修名で検索するか、右記二次元コードを読み取って申し込みしてください。

※堺市電子申請システムを利用するには利用者登録が必要です。



(2)受講決定

令和3年8月上旬頃に受講者の方へ受講決定通知を送付します。

(3)受講料のお支払い

受講決定通知に同封する納入通知書にて令和3年8月20日(金)までにお支払いください。

※受講料を納付された後は、受講を取りやめた場合でも返還はしませんので、ご了承ください。

8. 修了証書

(1)研修の全課程を受講された方に『医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了証』を発行します。

(2)提出課題について、指定期日までに受講レポートを提出しなかった場合や演習の事前課題を提出しなかった場合は未受講とみなし、修了証は交付できません。

(3)演習について、10分以上ビデオにより受講確認ができない場合や、受講中にスマートフォン等を操作する等、受講態度が著しく不良である場合は欠席とみなし、修了証は交付できません。

(4)受講申込書に虚偽の内容を記入して受講した場合、遡って受講を取り消す場合があります。

9. 個人情報の保護及び修了者の情報提供について

(1)本研修において知りえた個人情報については、研修の実施及びフォローアップ研修のご案内に必要な範囲で用います。

(2)本研修終了後は、医療的ケア児への支援に資するため、修了者の所属する施設・事業所等のリストを堺市ホームページに掲載します。

10. 研修受講に必要な通信環境について

(1)受講者各自で下記の条件を全て満たす通信環境を準備してください。

・有線等による安定したインターネット回線で、かつ、オンライン会議ツールを10時間程度途切れることなく継続して利用できること。

・ビデオカメラ、マイク、キーボードを備え、かつ、オンライン会議ツール(Zoomアプリ)をインストールできる端末(PC等)で接続できること。

・公共の場や不特定多数の人がいる場所等ではなく、静かな環境で接続できること。

・事前に、研修時と同じ環境で接続確認ができること。

(2)研修資料の送付は電子メールで行いますので、添付ファイルの送受信ができるメールアドレスを準備してください。

(3)演習のグループワークでは、書記役、発表者役、タイムキーパー役などを受講者に割り当てます。
書記役については、エクセル・ワード(マイクロソフト社)を使用できる端末が必要です。

11. その他

『医療的ケア児等コーディネーター養成研修』のホームページにて、研修実施等の詳細を随時掲載予定ですので、ご活用ください。

【堺市ホームページ→さかい☆HUGはぐネット→障害のある子ども→医療的ケア児等コーディネーター養成研修】

問合せ先 堺市健康福祉局 障害福祉部 障害支援課 TEL :072-228-7411

令和3年度 堺市医療的ケア児等コーディネーター養成研修 研修カリキュラム

資料3-2

○講義 (youtubeによる動画配信)

受講期間 令和3年9月上旬～

| 科目名 | 内容 | 講義番号 | 時間 | 講師名 | | | | |
|-----------------|--|--|----|---|-------------------------------|----|-------------------------------------|---|
| 1 総論 | ① 医療的ケア児等の地域生活を支えるために ② 医療的ケア児等コーディネーターに求められる資質と役割 | ① | 1h | 堺市健康福祉局障害福祉部 障害支援課 | | | | |
| 2 医療 | ① 障害のある子ども成長と発達特徴 ② 疾患の特徴 ③ 生理 | ② | 1h | 堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい センター長 児玉和夫氏 | | | | |
| | ④ 日常生活における支援① ⑤ 救急時の対応① | | | | | | | |
| | ④ 日常生活における支援② ⑤ 救急時の対応② | | | | | | | |
| | ④ 日常生活における支援③ ⑥ 訪問看護の仕組み | ③ | 1h | 医療法人輝優会 かがやきクリニック 院長 南條浩輝氏 | | | | |
| | | ④ | 1h | 社会医療法人ベガサス ベガサス訪問看護OJTセンター センター長 中野かおり氏 | | | | |
| | | ⑤ | 1h | 当事者の方2名 | | | | |
| 3 本人・家族の思いの理解 | ① 本人・家族の思い ② 意志決定支援 ③ ニーズアセスメント ④ ニーズ把握事例 | ⑥ | 1h | 社会福祉法人堺あすなろ会 Linkにわしろ 高田美奈子氏 | | | | |
| | 4 福祉 | ① 支援の基本的枠組み ② 福祉の制度 ③ 遊び・保育 ④ 家族支援 ⑤ 虐待 | ⑦ | 1h | 堺市子ども青少年局子ども青少年育成部 子ども家庭課 | | | |
| | | | ⑧ | 1h30m | 社会福祉法人風の馬 ベガサス保育園つばさ 園長 清水従子氏 | | | |
| | | | ⑨ | 30m | 堺市子ども青少年局子ども青少年育成部 子ども家庭課 | | | |
| 5 ライフステージにおける支援 | ① 各ライフステージにおける相談支援必要な視点 ② NICU からの在宅移行支援 ③ 児童期における支援 ⑥ 医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援① | ⑩ | 1h | 社会医療法人ベガサス 法人本部児童デイ開設準備担当 藤田里美氏 | | | | |
| | ④ 学齢期における支援 ⑤ 成人期における支援 ⑥ 医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援② | | | | ⑪ | 1h | 合同会社With 相談事業所ハートプラン 相談支援専門員 荒木裕美子氏 | |
| | | | | | | | | |
| | 6 支援体制整備 | ① 支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ② 支援体制整備事例 ③ 医療、福祉教育の連携 | ⑫ | 1h | | | | ・社会福祉法人堺あすなろ会 Linkにわしろ 高田美奈子氏 ・地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 患者支援センター ケースワーカー 香西摩矢子氏 ※パネルディスカッション形式 ・社会医療法人ベガサス ベガサス訪問看護OJTセンター センター長 中野かおり氏 ・社会医療法人ベガサス 法人本部 児童担当 藤田里美氏 ・輝ケアセンター39 相談支援専門員 山下 美由紀氏 |
| | | ④ 地域の資源開拓・創出の方法 | | | ⑬ | 1h | ・社会医療法人ベガサス 法人本部 部長 田中恭子氏 | |
| | | 7 計画作成のポイント | | | ⑭ | 1h | 社会福祉法人堺あすなろ会 Linkにわしろ 高田美奈子氏 | |
| | | ⑭ | 1h | 社会福祉法人堺あすなろ会 Linkにわしろ 高田美奈子氏 | | | | |

○演習

実施日 令和3年10月15日(金)、16日(土) 9:30~18:00

令和3年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修

令和3年12月作成

1. 実施状況

(1)研修概要

令和2年度同様、講義はyoutube、演習はZoomによるオンライン開催
講義は9月、演習は10月15日、16日に実施済

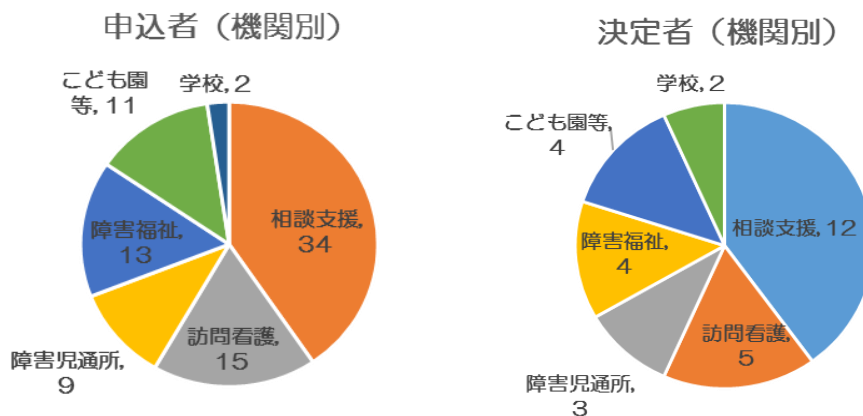
《参考》 大阪府の令和3年度研修実施状況

講義 対面 9月17日、24日開催

演習 対面 10月28日、29日実施

(2)研修修了者数 23名（うち前年度受講者2名）

申込者数は51名、決定者数は24名



《参考》 令和2年度 申込者数85名、決定者数30名、修了者数26名

(3)研修アンケートについて

講義では、下記3項目について、選択式（4段階）でアンケートを実施

- ・理解度 全員が、十分もしくはおおむね理解が深まったと回答
ライフステージごとの医療度や支援内容の変化等について理解が進んだとの回答が多かった
- ・難易度 約7割以上が、やや難しいと回答
市施策、制度、医療についてはとても難しいとの回答があった
- ・有用度 約8割が役立つと回答し、あとは全て、どちらかと言えば役立つと思うと回答

演習では、他職種とのグループワークを通して、自分と違った視点や意見を知る事ができた、色々な視点でケース検討ができた、多職種連携の必要性、重要性を実感した等と感じる受講者が多かった

(4)フォローアップ研修について

令和3年12月にyoutubeによるオンライン配信

「医療型児童発達支援センター」をテーマに、医療的ケア児と家族の生活の一端と医療的ケア児の支援に利用できる堺市の資源について理解を深めることを目的とする